

回転建具鳥小屋

■Concept

鳥小屋。

一言で鳥小屋といっても様々だが、鳥小屋は鳥の巣づくりを手助けするためのもので、巣づくり以外のときというに使われないことが一般的である。

一年を通して絶えず使われ続ける鳥小屋はできないものだろうか。

鳥にとって快適な環境をつくるにはどうしたらいいのだろうか。

また、鳥小屋というものを DIY することで、ものづくりの楽しさ、木のぬくもり、人と自然のつながりをデザインできないだろうか。

そこで考えたのは、回転建具の付いた鳥小屋である。

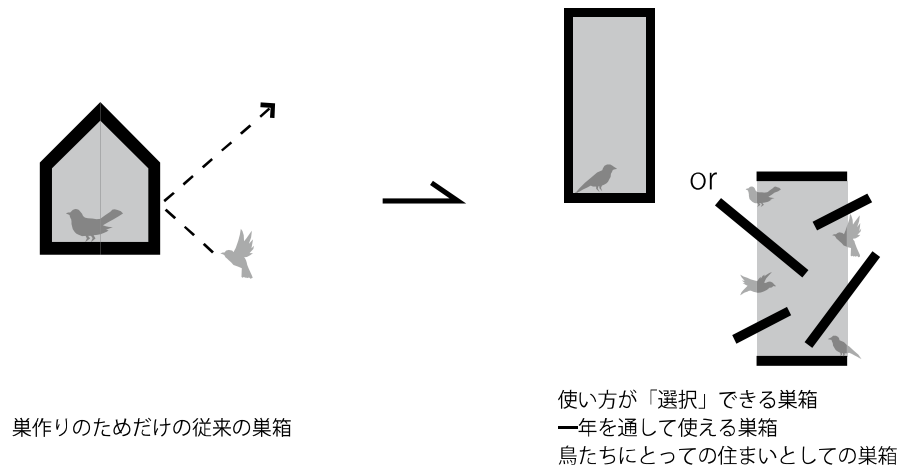
扉自体を大きくして、間仕切りにも使ったらどうなるだろうか。

閉じたときは、鳥の巣ごもりとして利用され、巣ごもりが終わった後に、回転建具を開くことで、回転建具が間仕切りのようになり、内部のような外部のような曖昧な空間が生み出され、それぞれの鳥たちが思い思いの居場所を見つけるような、言わば鳥のカフェのような場所となる。

こうしてできた鳥のカフェのような鳥小屋は一年を通して利用され

鳥たちにとってなくてはならない場所となる。

■Diagram



■つくりかた～だれでもつくれるような簡単 DIY ～

鳥の巣箱は、手軽（安く）につくれること、楽しくつくれること、頑丈につくれること
これが重要である。

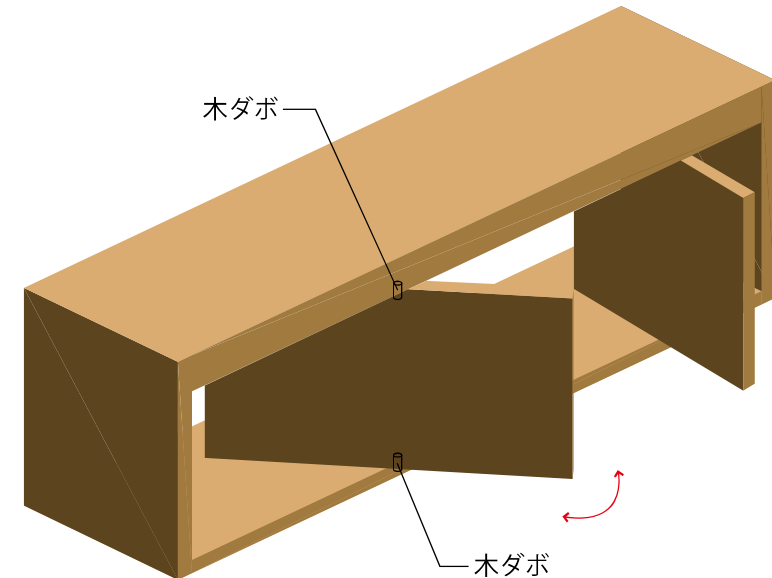
また、できるだけ自然素材（木）でつくることは、野生の鳥たちのいわば「住宅」
をつくることにおいて必須であると考えた。

この鳥小屋において重要な部分である「回転建具」もそんなことを考えながら
ディテールを検討した。

その結果、木ダボで建具の上下を留め、木ダボを軸にして建具を回転させるという
超シンプルなディテールとなった。

こうすることで、金物のない「鳥の住宅」が出来上がった。

また、出来上がった「鳥の住宅」の外側をバーナーで木の表面を焼くことで、
耐久性にも優れた「鳥の住宅」が完成する。



回転建具部分ディテール

「回転建具鳥小屋」

建具を閉じたとき



建具を開いたとき

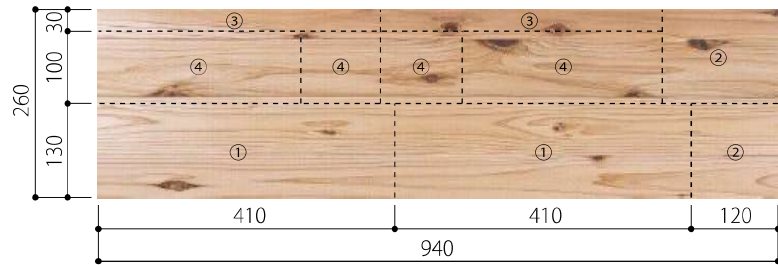


■DIY のススメ

鳥の巣箱は、手軽（安く）につくれること、楽しくつくれること、頑丈につくれること
これが重要である。とりわけ DIY は、簡単さが重要である。そのためにも材料及び
ディテールをシンプルにすること、このことを強く意識する必要があった。

■材料リスト～できるだけ少ない材料で手軽さを実現～

■国産杉板材 t=10 → 無駄のないカット割



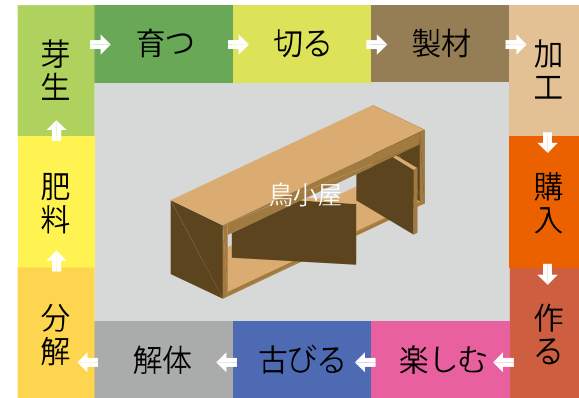
■木ダボ ×8 コ



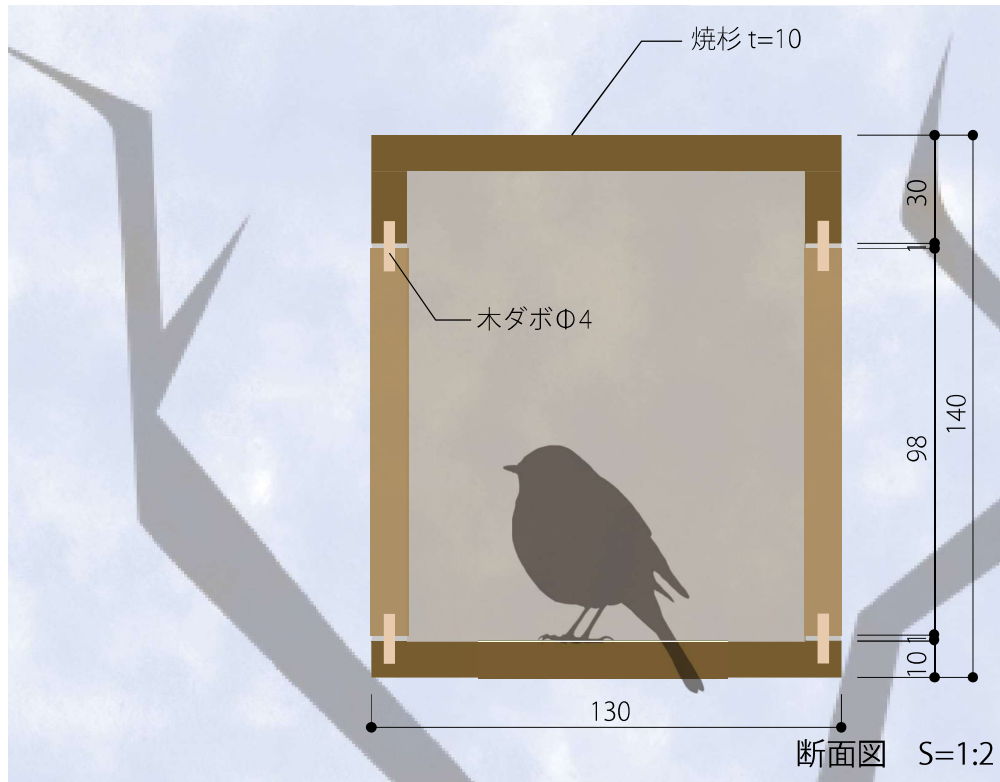
■くぎ or 接着剤

■地産地消のススメ

この鳥小屋の材料は、比較的日本全国で手に入ることが出来る杉板を用いている。
杉は、間伐材等により比較的安価に入手することができ、加工も柔らかいのでしやすい。
また杉は、日本各地に植林しており、各地の杉の地産地消を実現するためにも
手軽であり、安価で消費者に届きやすいため、最も適した材料ではないかと考えている。
また、地域の木材連合と協働することでさらに地産地消のサークルを強くすることも
可能なため、理想の地域密着型の地産地消を形成することができる。



地産地消のサークル



■きっかけのススメ

このプロジェクトの着想は、2014年にさかのぼる。
当時、とある一つのコンペティションに応募する。
すると、運よく以下の賞を受賞することができた。
そこで、本格的にこのプロジェクトを始動することになる。

■キルコス国際建築設計コンペティション 2015 能作文徳賞

テーマ：「内 / 外ー Interior/Exterior; Making the best of both worlds.」



■実験のススメ

偶然にも、その後、愛知県で開かれていた鳥小屋を製作するワークショップに参加することができた。そのワークショップで、回転建具鳥小屋をつくることができた。その後、ワークショップを開いた団体に鳥小屋を寄付し、実際に鳥小屋として使用していただくことができた。

使用した感想として、「鳥が枝に止まるかのように巣箱を使っているのが驚いた。巣箱というものの使い方の幅が広がった。」という温かいコメントをいただいた。人と限定するのではなく、鳥の生活も木を使って鳥の暮らしの質を高めることができるかと確信している。人も鳥も同じ動物なので当然なのかもしれない。

↓鳥小屋製作ワークショップの様子



